

西垣脩句集

西垣脩句集

角川書店

西垣脩句集

定価 二〇〇〇円

昭和五十四年六月二十五日 発行

著 者 西 垣 脩

発行者 角 川 春 樹

印刷者 菅 生 定 祥

発行所 角 川 書 店

東京都千代田区富士見二ノ十三  
振替東京③一九五二〇八  
電話東京265七一一(大代表)

目次

|                   |      |    |    |
|-------------------|------|----|----|
| 松山高校時代（昭和十二～十四年）  | 三九句  | …… | 五  |
| 「石楠」時代（昭和十五～十八年）  | 五七句  | …… | 三七 |
| 「石楠」時代（昭和二十三～三十年） | 一二〇句 | …… | 五九 |
| 「風」時代（昭和三十一～三十八年） | 一二六句 | …… | 三三 |
| 「風」時代（昭和四十～五十三年）  | 九七句  | …… | 六七 |
| 略年譜               |      |    | 三九 |
| あとがき              |      |    | 四九 |



西垣脩句集



松山高校時代（昭和十二～十四年）



人  
気  
な  
き  
鍛  
冶  
場  
の  
昼  
を  
藤  
の  
花

夏  
野  
ゆ  
く  
わ  
が  
陰  
足  
に  
ま  
と  
ひ  
つ  
く

ピ  
ッ  
チあ  
げ  
て  
光  
る  
オ  
ー  
ル  
よ  
海  
ま  
ひ  
る

耶  
蘇  
の  
画  
の  
頬  
辺  
の  
蠅  
に  
夕  
陽  
か  
な

山院の清水に西瓜漬けてあり

嗽ひ水くめば西瓜は揺れにけり

さはやかに空映し  
つつ眼鏡拭く

香の高き牧場の牛乳  
よ天の河

コスモスの花摘む指の冷えてゐし

コスモスは彼の日の径の花なりし

篠 芒 雲 し ろ じ ろ と 流 れ け り

黒 牛 の 耐 へ て 咆 え たり 冬 の 雷らい

迎無言凱旋 二句

風 寒 く 遺 骨 は 町 に 帰 り 来 し

遺 骨 運 ぶ 兵 の 面 に し ぐ れ む と す

春愁や鏡の我を見てありぬ

旗たてて鯛舟かへるかがやかに